

中野方小学校みどりの少年団

が全国緑の少年団活動発表大会で発表しました

10月9日、札幌市の北海道大学で開催された「全国緑の少年団活動発表大会」において、「みどりの奨励賞」に選ばれた恵那市立「中野方小学校みどりの少年団」の山崎絆利（やまざきばんり）さん、柘植暁登（つげあきと）さんが活動発表を行いました。新型コロナウイルスの影響で参加が危ぶまれましたが、無事発表することができました。

「中野方小学校みどりの少年団」は、平成28年に結成し、5、6年生がみどりの少年団員となり、坂折棚田や広大な森林などの豊かな自然を背景に、棚田での米作り、森の健康診断や木の駅プロジェクトなどの森林・林業体験に加え、バイオリン演奏にも取り組み、地域の人達の協力を得ながら多様な活動を行っています。

今回は、「学びたい、先人の思い！ 守り続けたい、中野方の自然！」をテーマに1年間の活動の様子を元気よく発表しました。地域の人達が長い間守ってきた中野方の農・林業や自然を団員みんなで学習・体験し、ふるさとを誇りに思い、自分たちにできることを見つけ、次に繋げようとする姿に会場からは大きな拍手をいただきました。

翌10日の第44回全国育樹祭式典行事の「緑の贈呈」では、北海道の野幌小学校愛林少年団から「木育の玉手箱」が贈られました。

「中野方小学校みどりの少年団」の皆様が緑や自然、地域を愛する人へ健やかに成長されることを願っています。



活動発表の様子



表彰（中央が中野方小学校）



中野方小学校みどりの少年団
（後藤校長 柘植くん 山崎くん）



全国育樹祭での緑の贈呈（木育の玉手箱）
中野方小学校（左） 額田中学校（右）

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎隆司】



生活環境保全林「日本ラインうぬまの森」 にある一里塚を知っていますか

山林協会通信②



生活環境保全林「日本ラインうぬまの森」は、平成4年度に県と各務原市が整備した66haの保健休養の森です。（詳細は山林協会HP〈<http://www.g-forestry.or.jp>〉のデジタルアーカイブ内の森の楽園シリーズ「日本ラインうぬまの森」をご覧ください）

ここでは、旧中山道が通っており、旧中山道で100番目の一里塚「うとう峠一里塚」があります。一里塚は、旅行者の目印に街道の一里（約4km）毎に設置した土を盛った上に樹木（榎、松等）を植えた塚です。



上の写真の石畳部分が旧中山道で、正面の森に入るとすぐに街道左側に下の写真の「うとう峠一里塚」があります。一里塚を示す標柱（江戸時代にはなかったと思いますが）と「市指定史跡旧中山道うとう峠一里塚の歴史が書いてある説明板」がありました。興味のある方は一度現地を訪れて、皇女和宮様も通った旧街道の往時に想いをはせてください。

【山林協会 瀬上】